



<<「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」ワーキンググループ>>

〈4000万人時代に向けて〉  
～Low Cost Carrierから見える課題と展望～



2015年12月18日

**Peach Aviation Limited**

# 〈4000万人時代に向けて〉

## ～Low Cost Carrierから見える課題と展望～

### 目標

=LCCが貢献できること

#### ①更なる訪日外国人数の増加(数値目標:4000万人)

⇒訪日を希望する外国人を増加させること(日本へのアクセスの向上)

⇒リピーターの増加\*(経験価値とバラエティの向上)

#### ②日本国内(とりわけ地方)での消費増加

⇒滞在日数の拡大の促進(バラエティの向上)

⇒地方への移動の促進<リピーターが主なターゲット>(国内アクセスの向上)

### 課題

=LCCが向上すべきこと

バラエティ

アクセス

経験価値

\*観光庁実施の訪日外国人消費動向調査(平成27年7-9月期報告書)によると、来訪回数では、「1回目」が44.4%と最も多い。

### ターゲティング

如何に“アジア”から人を呼び込むか

### “The 大阪モデル”の成果

“The 大阪モデル”がもたらしたもの

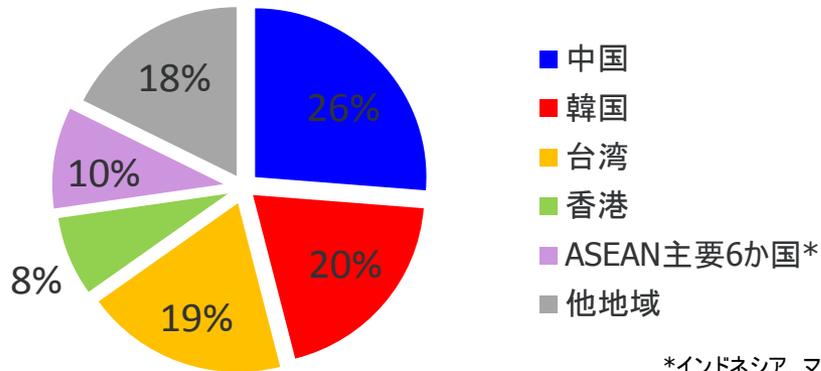
### ご提言したいこと

- (1) “The 大阪モデル”の更なる展開
- (2) 地方空港における路線拡大のために
- (3) 一層のインバウンド消費拡大に向けて

# ✈ ターゲティング

◆更なる訪日外国人を増やすためには、アジアからの観光客の取り込みが重要

## 2015年1月～10月 訪日外客数国別割合

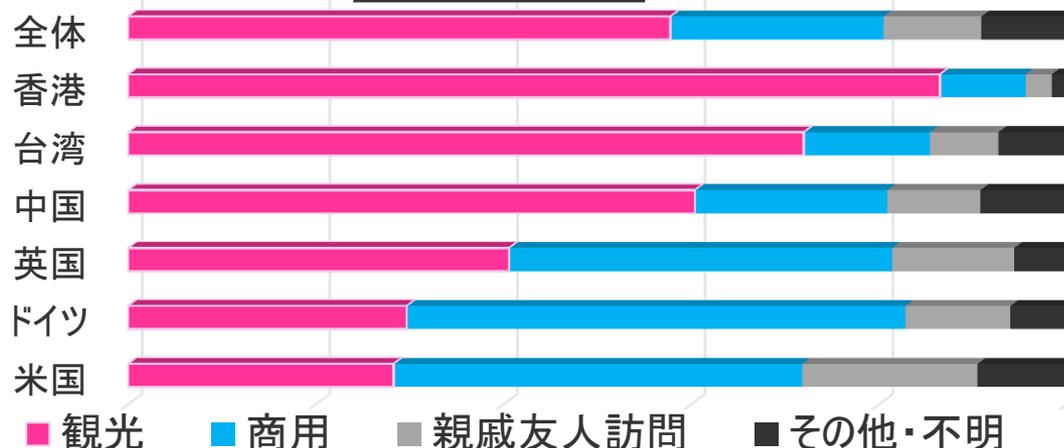


\*インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

- **東アジア: 82%**
- **4時間圏内: 73%**  
(一般的なLCCのオペレーション範囲)

\*Source: JNTO「訪日外客数」  
(2015年10月推計値)

## 国別訪日目的



- **アジア: 観光**
- **ヨーロッパ: ビジネス**
- **アメリカ: ビジネス**

\*Source: JNTO「訪日外客訪問地調査2010」

# ✈ ターゲティング

- ◆更なる消費を促進させるためには、北東アジアからの観光客を取り込んだ上で、以下の3つの数値の増加が必要である

訪日客数

宿泊日数

旅行中支出額

## 訪日外国人1人当たり旅行中支出

	1泊当たりの 旅行中支出額(円)	順位
香港	23,539	1
中国	14,749	3
台湾	13,024	6
韓国	10,559	10
全国籍・地域	12,095	-

- 香港: 全平均の約2倍
- 北東アジアが上位占める

\*Source: 観光庁「訪日外国人の消費動向  
訪日外国人消費動向調査結果及び分析  
平成27年7-9月期 報告書」

# ✈ “大阪モデル”＝みんなもうかりませ！

“The 大阪モデル”：4者一体で協業したことで、周辺地域に多大なる経済効果をもたらした。  
地域空港運営の成功例として、新たに定義したい。

(以下の4者は、Peachの開業準備を行っていた2010年頃より、一体となり体制を整えてきた。)



**Peach**

- コストマネジメントへの取組み強化
- 収益向上への取組み強化

**自治体/関係団体**

- 新規参入・増便への支援

**空港会社**

- LCCのビジネスモデルを理解した空港運営

**公共交通機関**

- 二次交通（含空港アクセス）の拡充

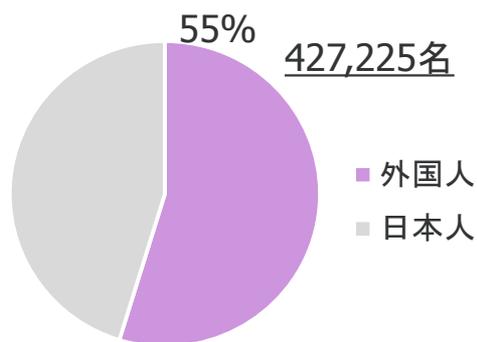
# ✈ “The 大阪モデル”の成果

	カテゴリー	効果	LCC就航前との比較
大阪府(経済 業界・企業を 含む)  <b>WIN</b>	大阪府の述べ宿泊者 数	年間2,837万人(2014年) ※大阪府の宿泊施設稼働率(6月): 83% <4カ月連続全国トップ>	<b>+661万人</b> (対11年)  *観光庁発表「宿泊旅行統計調査」より
	大阪府の述べ外国人 宿泊者数	年間620万人(2014年)	<b>+383万人</b> (対11年)  *観光庁発表「宿泊旅行統計調査」より
空港会社   <b>WIN</b>	新関西国際空港(株)の 関空での営業収益	1,139億円(15/3期) ※旅客サービス施設使用料収入や 免税・物販売上をはじめとする直営 事業収入が増収	<b>+256億円</b> (対11/3期)  *新関西国際空港(株)発表資料より
	関西空港旅客数	2015年1月～10月の累計 国際線旅客数:1,343万人	<b>+332万人</b> (対11年通年)  *新関西国際空港(株)発表資料より
		2015年1月～10月の累計 総旅客数:1,936万人	<b>+550万人</b> (対11年通年)  *新関西国際空港(株)発表資料より
企業(交通機 関)  <b>WIN</b>	南海電鉄の鉄道空港 線収入	関空利用者増による鉄道 空港線収入増	<b>+19億円</b> (対11/3期)  *南海電気鉄道(株)発表資料より
航空会社  <b>WIN</b>	収入と有償旅客数	営業収入: <b>371</b> 億 有償旅客数:約 <b>363</b> 万人	-  *弊社発表資料より

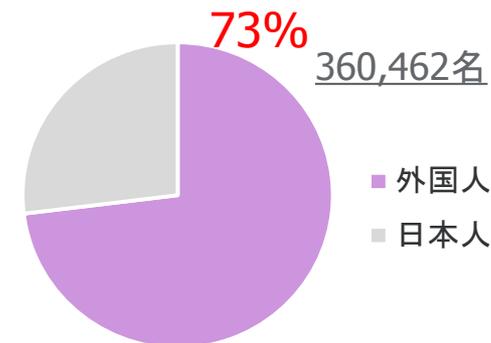
# ✈ “The 大阪モデル”の成果～Peachを例に～

Peachのネットワーク拡充が訪日外国人の増加に寄与するとともに、**国内移動の増加**に貢献

Peach国際線における、  
外国人搭乗者比率

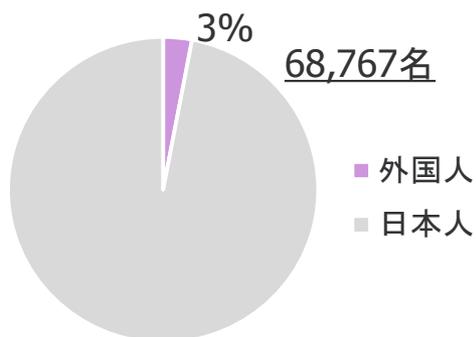


2013年

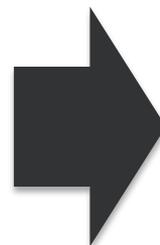


2015年(4月～8月) \*Peach調べ

Peach国内線における、  
外国人搭乗者比率



2013年



2015年(4月～8月)

\*Peach調べ

■外国人国内移動の増加に関して推察できる要因:

- ① 地方都市を目的地とする旅行客の増加
- ② リピーターの増加

# ✈️ ご提言したいこと

## (1) “The 大阪モデル”の更なる展開

- 各空港周辺地域の活性化
- 周遊旅行の促進
- 自治体と一体となった地方消費の促進

## (2) 地方空港路線の拡大のために

- 本邦航空会社の運航便拡大のための操縦士、整備士の確保
- 空港において地上取扱業務を行う事業者の要員不足の解消
- LCCの持続的な成長を可能とする、地方空港の容量拡大
- 国際線就航を可能とするCIQ体制の再構築

## (3) 一層のインバウンド消費拡大に向けて

- 都市圏を中心とする、公共交通機関の深夜・早朝の空港アクセス改善
- 宿泊施設の供給確保
- 個人旅行の増加に対応する、無料Wi-Fi環境整備の促進
- 新アプリの開発による個人旅行者へのサポート拡充（訪問地関連情報の提供等）

# ✈ “The 大阪モデル”の更なる展開

## □ 各空港周辺地域の活性化

4者一体となった取り組みを他空港でも展開し、  
訪日外客者(⇒航空旅客、空港利用者)の増加⇒空港周辺地域の活性化を図る

### 自治体/関係団体

- 新規参入・増便への支援、CIQ機能向上、空港ハンドリングの応需能力向上

金銭的支援

### Peach

- コストマネジメントへの取り組み強化
- 収益向上への取り組み強化
- 各地ブランド(売り)の海外発信

航空運賃を引き下げ  
※黒字経営をしている  
エアラインだからこそ可能

### 空港会社

- LCCのビジネスモデルを理解した空港運営
- 空港機能向上(\*)による非航空収入の向上と空港使用料(事業者負担コスト)の低減

(\*商業施設や“道の駅”の誘致、これまでにない活用方法《官庁施設の入居等》)

### 公共交通機関

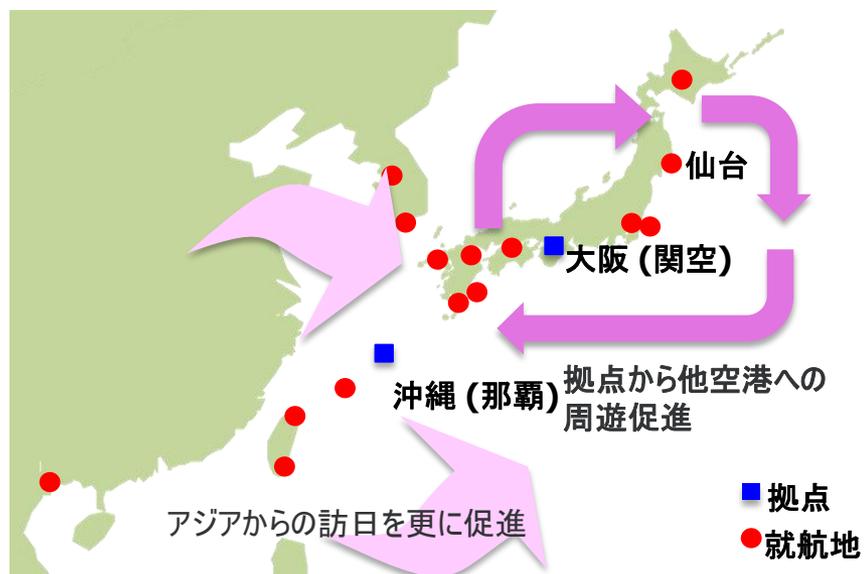
- 個人旅行者への対応拡充、空港機能向上による地元住民の空港利用向上に合わせた公共交通機関の充実

# ✈ “The 大阪モデル”の展開

## □ 周遊旅行の促進

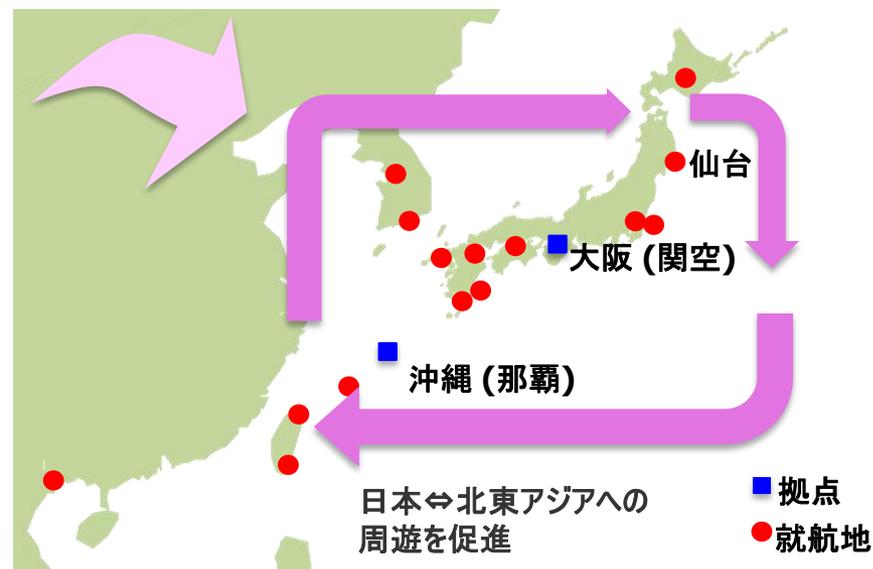
### ① 北東アジアからの観光客の国内周遊の促進

各地ブランド(売り)の海外発信により、  
訪日外国人を国内の周遊旅行へ誘導



### ② 欧米からの観光客の北東アジア周遊の促進

モデルルートの海外発信により、  
訪日外国人を北東アジア域内の周遊旅行へ誘導



# ✈ “The 大阪モデル”の展開

## □ 自治体と一体となった地方消費の促進

### For 自治体

就航地・周辺/県外自治体へ“人を運び”、“消費を促進し”、“PR”に役立つ支援メニューを提供

### For インバウンドのお客様

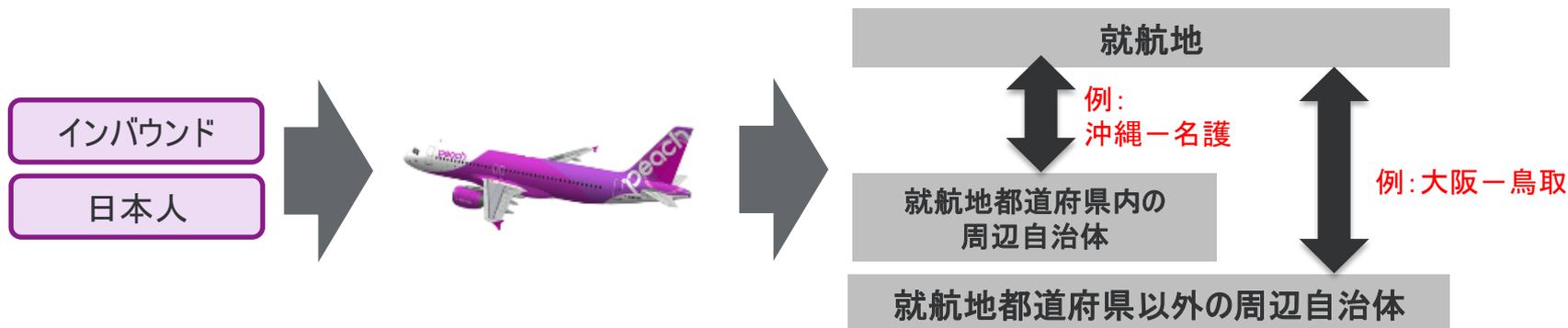
人気観光地や繁華街・ショッピングだけではなく、地方の埋もれている素晴らしい観光資源へ誘引

### For 日本人

“NationalなくしてInternationalなし” 日本をもっと巡って良さを体感、日本を愛してから海外へ！

### Peachが地域を支援するメニュー

1. 飛行機で運ぶ(就航地)
2. 就航地から地上交通で運ぶ(就航地周辺・県外の周辺自治体)
3. ふるさと納税での連携(就航地、周辺自治体) \* お礼品のピーチポイントで寄付先へ旅行  
～ 更に多様な地域との支援コラボレーションのメニューを展開検討中



# ✈ 地方空港における路線拡大のために

- **本邦航空会社の運航便拡大のための操縦士、整備士の確保**
  - ・ 航空大学校での養成枠の拡大
  - ・ 私立大学校操縦学科に在籍する学生の経済的負担の軽減
  - ・ 操縦学科を設置する教育機関に対する技術的・経済的支援
  - ・ 即戦力となる外国人操縦士の確保・活用
  - ・ 整備士養成専門学校に対する経済的支援の拡大
- **空港において地上取扱業務を行う事業者の要員不足の解消**
  - ・ 地上ハンドリング業務を行う上で必要な資格の取得支援(補助金)
  - ・ 空港ごとに異なる運転資格などの統一による空港間の人材流動の円滑化の促進、外国人労働者の就労支援
- **LCCの持続的な成長を可能とする、地方空港の容量拡大**
- **国際線就航を可能とするCIQ体制の再構築**

# ✈ 一層のインバウンド消費拡大に向けて

---

- **都市圏を中心とする、公共交通機関の深夜・早朝のアクセス改善**
- **宿泊施設の供給確保**

都市圏を中心に宿泊施設不足が深刻となっており、訪日外国人の増加に向けた拡充が必要  
(遊休スペースへの投資優遇、活用促進等)

- **個人旅行の増加に対応する、無料Wi-Fi環境整備の促進**

個人旅行者の利便性向上を目的とした電車・バス、駅や主要観光施設等でのWi-Fi環境の充実  
新アプリによる個人旅行者へのサポート拡充(訪問地関連情報の提供等)